



与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和5年度11月号

与路っ子 11

「愛情の土台を築こう」

校長 川井 功作

今回は、「問題行動」を起こしてしまう子どもの心理について紹介します。(新聞記事より)

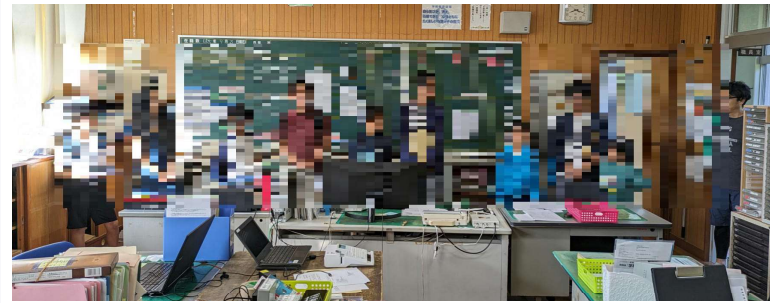
自分を「見て欲しい!」という思い

全ての子どもは、周りにいる大人に「自分をみて欲しい」と思っているのです。小さいうちは親や先生に「見て見て!ねえ見てよ」と、たくさんアピールしてきます。そこで、誰からも見て貰えないと、どんな行動にでるでしょうか?「忙しいから後にして、向こうでテレビでも見てなさい」といった行動を積み上げていった場合、子ども次第に「見て見て!」と言わなくなります。そして、「見てくれないなら、いけないことをしてやれ」と思うのです。褒められるようなことをするより、怒られるような事をした方が注目を集めやすいことを、子どもは知っているのです。それは年齢が上がれば上がるほどエスカレートしてきます。例えば「暴走族」なんてすぐわかりやすいです。親も教師も、誰も見てくれません。でも大きな音を出してたくさんの人に迷惑をかければ「警察」は自分のことを見てくれます。自分が警察に捕まれば、親が呼び出されます。そして警察と親は「自分について」話をしてくれます。つまり「迷惑をかける」という行動の裏には、「僕のこと見てよ、僕はここにいるよ、お願いだから僕のこと見てよ!」そういった悲痛な心の叫びが隠されていることが多いのです。そこで問題行動を解決するためには、日頃から愛情をたくさん与えることです。「あなたの事を見ていますよ!」というメッセージを届けることです。目を見て、名前を呼んで、話を聞いて、微笑みかけて、一緒に時間を過ごす。「愛情」の土台がきちんと出来ていれば、その子は道を踏み外すことはありません。自分のことをしっかりと愛してくれる人が悲しむようなことはできないからです。やはり人間は子どもに関わらず誰かしらに「見て欲しい」という気持ちがあります。「ちゃんと見てるよ」というメッセージを届けてあげましょう。

R6海の子留学体験入学

10月23日(月)、令和6年度の海の子留学生の体験入学が行われました。来年度は、現時点で中学生が2名、小学生4名の学校になる予定です。

体験入学では、在校生による学校・与路島の紹介や合同授業、レクリエーションなど行いました。次年度から海の子留学の仕組みが大きく変わりますが、与路小中学校が千代に八千代に続くよう、応援よろしくお願いします。



池地・与路交流学习



10月26日(木)、今年度2回目の池地小中学校との交流学习が本校で行いました。今回は、学習発表会直前ということもあり、それぞれの舞台発表を紹介しあうプレ学習発表会を活動の中心に据え、交流を深めました。お互いの発表を見る機会はないため、子供たちにとって非常に充実した時間となったようです。

職業講話(自衛隊)

10月30日(月)、大島支庁の自衛隊広報から3名お越しいただき、自衛隊の紹介や仕事内容についての講話をいただきました。なんとなく知っているだけだった事柄について詳しく学べたり、現在の国際情勢についても考えたりする非常に有意義な時間となりました。



学習発表会

11月3日(金)、学習発表会を開催し、地域や保護者、たくさんの方々に普段の学習の成果を披露することができました。今年は奄美の本土復帰70周年記念ということもあり、発表内容にもそれらの内容が多く見られ、地域の皆様からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。来年度は、もっと地域の方に喜んでもらえるようがんばっていききたいと思います。



おもな12月の行事

- 5 (火) 芸術鑑賞教室(K@ITO)
- 8 (金) 持久走大会 学級PTA
- 21 (木) 郷土学習(門松作り・餅つき)
- 22 (金) 終業式
- 28 (木) 仕事納め